

第一次世界大戦とユダヤ人

◆日時：1月31日（土）：13:30-18:30

◆場所：大阪大学中之島センター 5階 講義室 507（京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-5 3（TEL：06-6444-2100）

アクセス：<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

◆無料：どなたでもご参加できます／事前予約等不要

◆主催：科学研究費・基盤研究（B）『ユダヤ自治』再考——アシュケナージ文化圏の自律的特性に関する学際的研究

◆共催：神戸ユダヤ文化研究会、大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室

◆プログラム：

13:30～13:40：開会の辞（赤尾光春）

13:40～15:10：第一部：政治体制の崩壊と社会的地位の変貌

報告①：「第一次大戦からワイマル期にかけてのドイツ・ユダヤ人」（長田浩彰）

報告②：「ユダヤ人——帝国内少数民族から国民国家内少数民族へ」（野村真理）

15:10～15:20：休憩

15:20～16:50：第二部：破局の記憶と経験

報告③：「東部戦線とユダヤ人の受難——S・アンスキーの『ガリツィアの破壊』と記憶のポリティクス」（赤尾光春）

報告④：「ユダヤ・ナショナリティと無国籍性——第一次世界大戦後のユダヤ移民」（向井直己）

16:50～17:00：休憩

17:00～18:30：討論

コメント：高尾千津子、鶴見太郎

◆プロフィール：

・長田浩彰：広島大学総合科学研究科教授／ドイツ＝ユダヤ近現代史／『われらユダヤ系ドイツ人——マイノリティから見たドイツ現代史 1893-1951』（広島大学出版会、2011）など

・野村真理：金沢大学人間社会研究域教授／社会思想史・西洋史／『ガリツィアのユダヤ人——ポーランド人とウクライナ人のはざままで』（人文書院、2008）など

・赤尾光春：大阪大学文学研究科助教／ユダヤ文化研究／『シオニズムの解剖——近代ユダヤ世界におけるディアスポラとイスラエルの相克』（人文書院、2011）など

・向井直己：京都大学人間環境学研究所特定研究員／ユダヤ学史、近代ユダヤ思想史／「ユダヤ移民とパレスチナ問題」（山室信一ほか編『現代の起点 第一次世界大戦 4 遺産』（岩波書店、2014））など

・高尾千津子：東京医科歯科大学教養部教授／ロシア、ソ連・ユダヤ史／『ソ連農業集団化の原点——ソヴィエト体制とアメリカユダヤ人』（彩流社、2006）など

・鶴見太郎：埼玉大学教養学部准教授／ロシア帝国ユダヤ史／『ロシア・シオニズムの想像力——ユダヤ人・帝国・パレスチナ』（東京大学出版会、2012）など

◆お問い合わせ：06-6850-5116（大阪大学文学研究科ドイツ文研究室・赤尾）